



ASAHI University News Letter

vol.134

July 2021

発行日／隔月1日
編集・発行／朝日大学 総務部

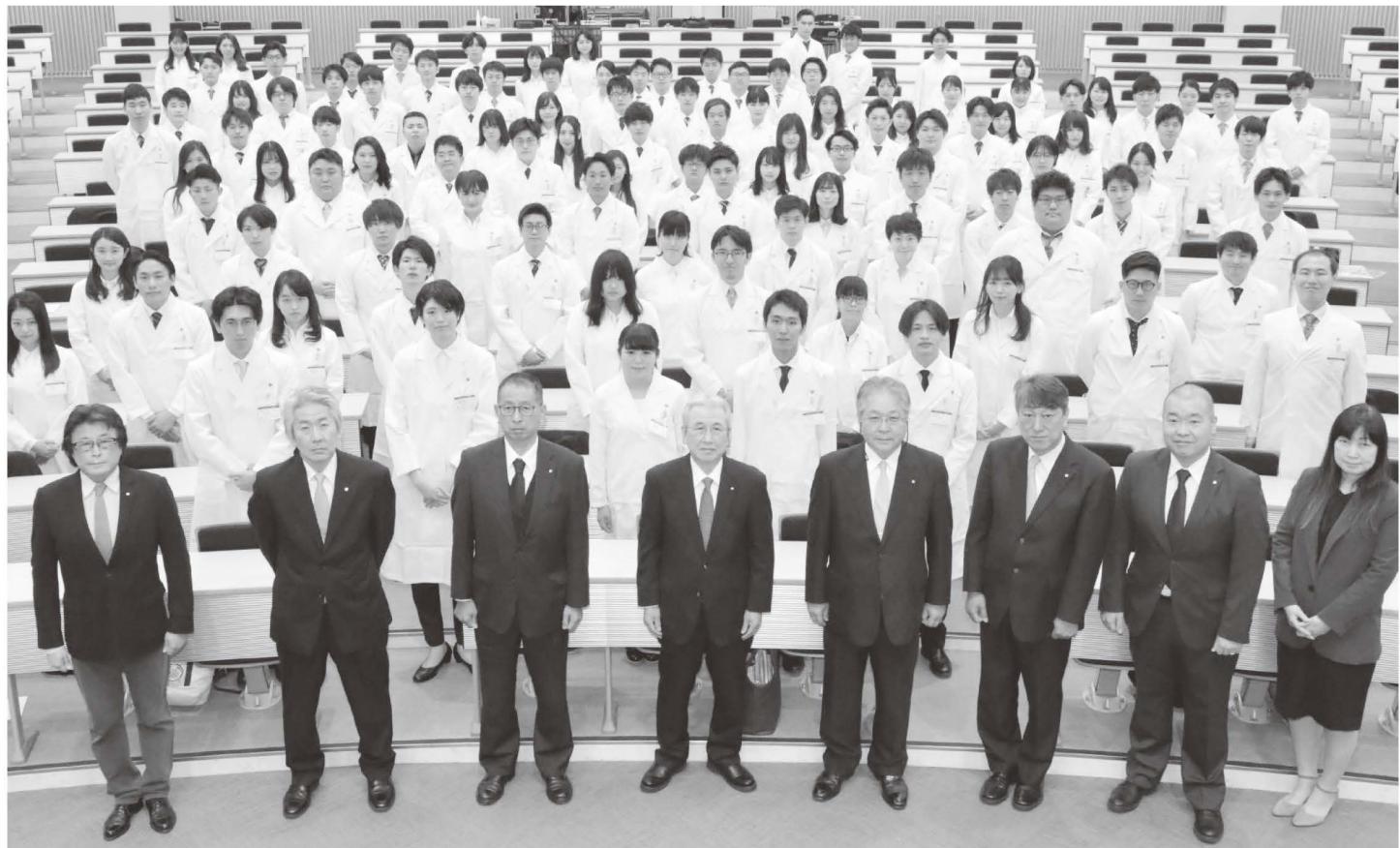


朝日大学HP

2022年度 入学者選抜方法決まる

今日、わが国をとりまく社会情勢や環境は日々刻々と変化し、少子高齢社会の到来、新型コロナウイルス感染拡大など、依然として厳しい状況下にあります。

朝日大学では、これからも教育・研究・医療の質の向上を目指しステークホルダーである高校生や保護者、あるいは地域社会の方々から「信頼される大学づくり」に邁進してまいります。



歯学部5年生が新たな気持ちを胸に登院式に臨む

2022年度入学試験日程が決まる

朝日大学では、入試制度改革・高大接続改革推進に伴い、学力の3要素などを総合的に評価するため、多彩な選抜方法による入試を実施。「選ばれる大学、魅力ある大学」づくりがより一層進むこととなります。

経営学部で高大接続入試

経営学部では、昨年度から導入の高等学校で学んだ「会計」や「マーケティング」をより専門的に学びたい者を対象とした高大接続入試を引き続き実施します。

区分	名 称	期・日程	学部学科	試験日		募集人員				
				法	経	看	健	歯		
総合型選抜	信長	I	全	10月24日(日)	3	4	3	3	7	
		II	看・歯	11月20日(土)			2		3	
		III	法・経・健	11月21日(日)	2	3		2		
		IV	全	12月18日(土)	2	2	1	2	2	
学校推薦型選抜	指定校推薦		看・歯	11月20日(土)						
			法・経・健	11月21日(日)						
	一般推薦	I	看・歯	11月20日(土)	22	30	26	15	31	
		II	法・経・健	11月21日(日)						
一般選抜	スポーツ推薦 吹奏楽推薦 高大接続推薦 (会計/マーケティング)	I	法・経・健	11月21日(日)						
		II	高大接続 推薦は 経営のみ	12月18日(土)	15	19		43		
		III		1月28日(金)						
		IV		2月25日(金)						
一般選抜	一般	I A		1月26日(水)						
		I B		1月27日(木)	15	18	30	30	55	
		I C		1月28日(金)						
		II		2月25日(金)	3	3	2	7	8	
		III		3月15日(火)	2	3	2	5	4	
大学入学共通 テストプラス	I	全	I 期受験	3	4	2	2	2		
	II		II 期受験	2	2	2	2	2		
	III		III 期受験	2	2	1	2	2		
大学入学共通 テスト利用	I	全	1月26日(水)※	5	5	5	3	8		
	II		2月25日(金)※	2	3	2	2	2		
	III		3月15日(火)※	2	2	2	2	2		

法…法学部法学科、経…経営学部経営学科、看…保健医療学部看護学科
健…保健医療学部健康スポーツ科学科、歯…歯学部歯学科
※歯学部のみ試験を実施し、他学部は個別試験を課さない。

2022年度 受験者向け資料が完成

大学案内パンフレット、入試ガイド、赤本などを無料配付しています。

ご希望の方は、お電話やホームページからご請求ください。

[お問合せ先]

入試広報課 TEL 058-329-1088
E-Mail nyuusi@alice.asahi-u.ac.jp



学生生活をサポートする 奨学支援制度

「歯科医師」という夢をかなえるための教育システムと独自の奨学融資制度。

真の知識と技術、そしてやさしい心を持つ「看護師」の養成を行う保健医療学部看護学科の奨学支援制度。

法学部・経営学部・保健医療学部健康スポーツ科学科では、今日のきびしい経済情勢やコロナ禍においても「だれもが同じスタートラインに立てる」よう充実した奨学支援制度を整備。

だれもが同じスタートラインに立てる

朝日大学は、全学部対象の「新型コロナウイルス対策緊急支援奨学金」、「診療費補助制度」、「学資借入支援奨学金制度」や「奨学融資制度」を、また、各学部独自の奨学支援制度を整備し、学生生活や生涯研修を万全な体制でサポートしています。

支援制度の詳細については、ホームページ、大学案内、入試ガイド、学生募集要項などでご確認願います。

歯学部

● 短期海外研修制度

● 生涯研修事業(CE)

保健医療学部看護学科

● 看護学科奨学金制度

● 看護師奨学金制度

● 短期海外研修制度

法学部・経営学部・保健医療学部健康スポーツ科学科

● 学業奨励奨学金制度

● スポーツ奨励奨学金制度

● 会計奨励奨学金制度

● 吹奏楽奨励奨学金制度

● 修学支援奨学金制度 ※1

● 北海道・沖縄特別奨学金制度

● 資格取得支援奨学金制度 ※2

● 國際交流支援制度

※1 名称等変更予定 ※2 法学部・経営学部が対象

故宮田慶三郎先生を偲び「慶夢忌」

朝日大学の創立者故宮田慶三郎先生の功績を偲び5月27日、穂積キャンパス6号館6201講義室にて「慶夢忌」が行われました。参列者の黙祷に続き、宮田淳理事長をはじめ教職員や学生の代表が献花をしました。

「慶夢忌」は、故宮田慶三郎先生のご功績ややさしい人柄を偲ぶとともに、先生の残されたお言葉を心に刻み、建学の精神を再確認する機会として開催されました。



宮田理事長が挨拶



献花を行う代表学生



参列者による黙祷

エコプロジェクト 「Cool Biz」始まる

朝日大学では2009年度から大友克之学長のもと、建学の精神に基づき全学で「エコキャンパスプロジェクト（地球温暖化防止策）」を開催（「Cool Biz」「Warm Biz」「省エネルギー対策」）しています。

「朝日大学×SDGs in GIFU」宣言

2019年12月には「朝日大学×SDGs in GIFU」を宣言。2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ：持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」に取り組み、教育・研究・医療活動・地域貢献を通じ、ここ岐阜瑞穂の地から「持続可能な世界の実現」に向けAction（行動）を開始しております。



White Coat Ceremony 2021

歯学部登院式を実施

歯学部5年生の登院式（白衣授与式）が、4月10日穂積キャンパス6号館6201講義室で厳粛に行われました。この登院式は、5年生が参加型臨床実習を始めるにあたり、本格的な実習教育への第一歩を踏み出す節目として実施されています。

登院式では、倉知正和副学長から「登院の許可」、田村康夫歯学部長からの激励に引き続き、藤原周医科歯科医療センター長から白衣と合わせて2020年度から新たに実施されているStudent Dentist認定証が授与され、学生らは歯科医師を志す気持ちを新たにしていました。



倉知副学長の登院許可と告示



田村歯学部長の激励挨拶

医療人としての決意表明

その後、学生代表の西井由衣さんから「社会的責任と医療人としての自覚を持ち、真摯に実習に取り組みます」との決意があり、参加型臨床実習への第一歩を踏み出す素晴らしい門出となりました。



西井さんの決意表明

私立大学等改革 総合支援事業に選定

私立大学等改革総合支援事業は、文部科学省が、特色ある教育・研究の推進や地域社会への貢献、社会実装の推進など、役割や特色・強みの明確化に向けた改革に全学的・組織的に取り組む大学等を重点的に支援する事業です。

特色ある教育、地域社会貢献が評価される

本事業が定めるタイプ1～4のうち、本大学はタイプ1「『Society5.0』の実現等に向けた特色ある教育の展開」、タイプ3「地域社会への貢献（地域連携型）」に選定されました。

これからも、「選ばれる大学づくり、魅力ある大学づくり」を推進して参りますので、本大学の教育・研究・地域貢献にご理解とご支援をお願いします。

春の叙勲を受章

「瑞宝中綬章」

令和3年（2021年）春の叙勲において、本大学の名誉教授である竹内宏先生が「瑞宝中綬章」を受章されました。

竹内先生は、歯学部口腔病理学講座の教授、また、副学長として日本の口腔病理学の発展と教育・研究並びに大学運営に寄与された功績が認められ、受章となりました。



北京大学とのオンライン交流

35年以上続く北京大学との国際交流

3月25日、北京大学口腔医学院、本大学、本大学の姉妹校である明海大学との3大学間でオンライン交流会議が行われました。

今回の交流会議では、歯学部の口腔病理学をテーマに教員紹介や研究発表が行われ、活発な意見交換や質疑応答が行われました。

今回オンラインでの交流を通じ、国際交流の様々な距離的・心理的な壁を乗り越える一つの手段であること、教員や学生間での更なる学術交流の布石となると実感できたことは、大きな成果といえます。



科学技術振興機構
「さくらサイエンスプラン」
6年連続採択

保険制度など情報を交換

また、4月22日には、北京大学看護学院と本大学保健医療学部看護学科とのオンライン交流会議が行われました。

今回の交流会議では、看護分野における日中両国の様々なデータや保険制度などについて活発な意見・情報交換が行われ、今後の共同研究テーマが検討されました。



共同研究テーマをオンラインで検討

「優秀発表賞」を受賞！

「第94回日本薬理学会年会」が3月8日～10日、札幌On-site会場とWebによるハイブリッド形式で開催されました。日本薬理学会とは、医学・歯学・薬学などの多彩な学問分野から、最新の薬理学の研究成果を発表する学会です。

将来性と独創性、プレゼンテーション能力

歯学部歯科薬理学分野の大野雄太講師（受賞時は助教）が、「アルギナーゼ1は雄性NODマウスにおいて涙液分泌低下に関与する」をテーマに発表。研究内容、研究の将来性と独創性、プレゼンテーション能力において特に優秀であると評価され、「年会優秀発表賞」に輝きました。



「優秀発表賞」受賞の大野先生

大野先生の今後の研究の進展が期待されます。

歯学部課外セミナーを開講

発展的な学習機会を提供

歯学部歯科医学教育推進センター（永山元彦センター長）主催の「2020年度歯学部課外セミナー」が3月1日～11日の期間に開講されました。



課外セミナーは、カリキュラムの教育内容を基盤として、講義及び実習に関する発展的な学習機会を提供することで、学生の知識、技能及び態度の更なる向上を図ることを目的に開講され、各研究領域の研究室が主体となりセミナーを実施しました。

学部学生や大学院生は、真剣な眼差しで講義・実習に取り組んでいました。

- 頸部&頭部局所解剖リカレントセミナー
- 口腔内スキャナーを用いた1-day treatment体験
- 気管挿管体験実習
- スポーツマウスガードの作製



スポーツマウスガードを作製



セミナー修了証を受領

生涯研修を積極的に支援

朝日大学・明海大学歯学部生涯研修(CE)が開講

本大学歯学部及び明海大学歯学部が共同実施している歯科医師及び歯科衛生士を対象とした生涯研修事業(CE)が、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点により「Web配信」を中心に4月から開講されています。

堀田正人歯学部生涯研修センター長は、すべて「Web配信」の「クリニカル・スキルアップコース:28コース」、「Web配信」と「対面」で実施の「クリニカル・ステップアップコース:6コース」への積極的な受講を呼びかけています。

これまでの受講者は、日本全国各地で地域医療の中心的な役割を担う歯科医師として活躍しており、また、近年は大学院歯学研究科の学生や海外からの受講生を迎えるなど、CEは教育的かつ国際的な医療貢献活動へと発展しています。



歯学部臨床系実習室での研修

市民講座「エクステンション・カレッジ」

JR岐阜駅「ハートフルスクエアG」で受講も

本大学では、岐阜市、瑞穂市、岐阜県教育委員会、岐阜市教育委員会、瑞穂市教育委員会、各務原市教育委員会、大垣市教育委員会の後援を受け、「朝日大学エクステンション・カレッジ」を穂積キャンパス及びJR岐阜駅「ハートフルスクエアG」で市民講座として開講しています。

「学び直し」の機会を提供

同カレッジでは、様々な講座が開講されており、学び直しの絶好の機会となっています。是非、時間を見つけ受講してみてはいかがでしょうか。

詳細は、電話でお問い合わせ、または、朝日大学ホームページでご確認ください。

(エクステンション・カレッジ開講講座(一例))

自分のWebページを作ろう、簿記基礎、吹奏楽の楽しみ、哲学の世界への誘い、ポジティブ心理学入門、ラテンアメリカ文化を知ろう、学び直し!!世界の歴史など



様々な講座を開講

遠隔講義の総括と今後

「2020年度第10回全学FD研修会(FD・SD活動推進委員会主催)」が、3月15日“Zoom”にて、遠隔プロジェクトチーム協力の下、教職員など100名が参加し開催されました。

コロナ禍での授業運営

本大学では授業方法等の改善と向上を通じて「魅力ある授業」を学生に提供することを目的に同研修会が毎年開催されています。



今回の研修会では、プロジェクトチームの経営学部矢守恭子教授と曾我部雄樹准教授が「遠隔講義の総括と来年度の方針」と題し、2020年度遠隔講義の総括「1. 遠隔講義の方針(振り返り)、2. 学生アンケート報告(前・後学期)、3. 来年度の方針について」を解説。「今後は、遠隔と対面を考慮したハイブリッドな講義スタイルの構築が課題となる」と結ばれました。

参加者たちはコロナ禍での授業運営の進むべき方向について熱心に学びました。

「医療経営士養成プログラム」を開講

地域社会連携講座

本大学では、(株)大垣共立銀行との連携協力を基に穂積キャンパスを会場とし、「医療経営士3級」合格を目指す「地域社会連携講座-医療経営士養成プログラム」を開講しています。

文部科学省及び厚生労働省から認定

本講座は、文部科学省「職業実践力育成プログラム」及び厚生労働省「教育訓練給付金(専門実践教育訓練)指定講座」に認定されています。本大学と同行との産学連携協定に基づく事業の一環として、「医療経営に関する知識、実践的な技能を体系的に学修できる社会人向けプログラム」を通じ、医療現場を経営の分野から支える人材を育成し地域貢献に資することを目的としています。

開講式では、同行常務取締役の土屋論氏並びに本大学の宮田淳理事長から、「コロナ禍ではありますが、日進月歩の医療分野で働く者として常に視野を広げて考える医療経営士を目指していただきたい」との挨拶がありました。



土屋常務取締役からの挨拶



宮田理事長から開講の挨拶

看護学科成績優秀者を表彰!

医療人としての自覚と志

4月20日、「保健医療学部看護学科2020年度成績優秀者表彰式」が行われ、各学年成績上位の学生が成績優秀者として表彰されました。

この表彰は、学生の学修意欲の持続及び向上を図ることを目的に開催されています。

表彰式には、成績優秀者及びアドバイザー教員が出席、須賀京子看護学科長から表彰状と副賞が授与されました。



須賀京子看護学科長から表彰

交通ルール順守の呼びかけ

春の全国交通安全運動

穂積キャンパス東側道路に設置の横断歩道付近にて、4月6日～15日の期間、春の交通安全運動を実施しました。



学生部の呼びかけで、北方警察署、本巣地区交通安全協会、防犯ボランティア「めぐる」や相撲部の学生を中心に延べ200名が、朝の通勤通学時間帯に合わせて「横断歩道を渡りましょう、シートベルトを着用しましょう」などのハンドプレートや横断幕・のぼりを掲げ、歩行者や車両に対し交通ルール順守を呼びかけました。

地域社会に安全・安心を

また、本大学では、建学の精神に則り社会の一員である自覚を持つため、「朝日大学学生による迷惑行為防止に関する規程」を4月1日付で制定。本大学周辺の近隣住民に対する迷惑行為を防止すると共に、安全・安心な生活を確保することを目指しています。

図書の寄贈を受ける

図書館では、本大学客員教授の志田威先生から次の図書の寄贈を受けました。
『東海道57次』(ウェッジ)2015
『東海道・中山道 旅と暮らし』(静岡新聞社)2019
『静岡市二峰六宿に眠る文化財・史話等を求めて』(二峰六宿道旅推進実行委員会)2018
『東海道における近世町民生活(東海道 蒲原宿)』(東海道町民生活歴史館)
『東海道は大坂までの57次だった』(街道文化研究会)2019
東海道町民生活歴史館の館主・館長でもある志田先生は、日頃から宿場や街道の文化を紹介し、正しい理解を広める活動を進めておられ、今年3月に本大学で開催された第4回「街道交流会」の講師を務められました。先生のご著書は、当時の文物と社会の調査、分析、考察など興味深い内容が、写真を交え解説されており、初心者でも興味を持って読むことができます。当時に思いをはせ、興味をもつきっかけとなる貴重な図書です。

全学で新たなカリキュラム導入

人権教育導入科目を開設

本大学では、建学の精神「国際未来社会を切り開く社会性と創造性、そして、人類普遍の人間的知性に富む人間を育成することにある」の理念の下、人権教育推進委員会を設置するとともに、各学部で人権教育導入科目を開設（建学の精神と社会生活、憲法、法学概論、倫理学概論、哲学、倫理学、法学、スポーツと法、スポーツ教育学、コーチング論、医療倫理学）し、日々「人権教育」に取り組んでいます。

大学・地域・社会から求められる人材

法学部、経営学部、保健医療学部健康スポーツ科学科では、大学・地域・社会から求められる人材の育成を目指し、日頃スポーツに取り組んでいる体育会所属の1年生を受講対象とした教養プログラム「アスリートの生活とキャリア」「スポーツ文化とスポーツのモラル」を開講しています。

スポーツ学生たちは、各種目の指導者と共に授業に真摯に取り組んでいます。



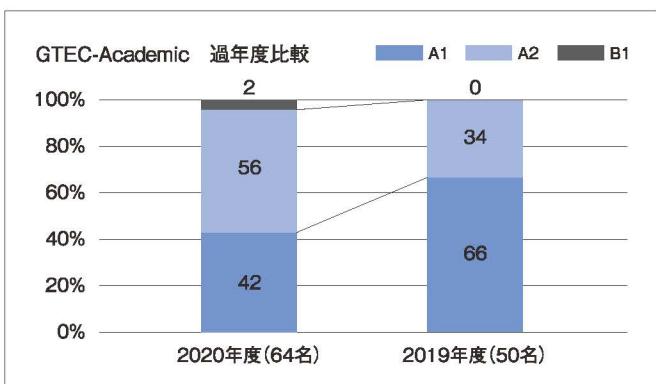
指導者と共に教養プログラム受講

「GTEC」Academicの結果

本大学の英語教育センター（服部哲明センター長）では、学生の学修成果の可視化と英語教育の指導改善を行うことを目的として「GTEC」Academicを導入しました。GTECとは、実践的な英語コミュニケーション能力を4技能（聞く・読む・書く・話す）で測定する検定です。

2020年度の成績結果を分析すると、前年度に比べ4技能全てにおいて1年生の成績が向上（A2の割合が増加）しております、「朝日大学における英語教育の在り方」に基づき、教科書やシラバスの統一等により指導改善の成果が明らかになったと考えられます。

次年度以降も学修の質を高める指導法の研究を継続的に行って、学生の学びに寄り添い、キャリア支援等に寄与していきます。



東京オリンピック聖火リレー

聖火ランナー大友学長が希望を託し

4月3・4日に岐阜県で東京オリンピック聖火リレーが行われました。

大友克之学長は、聖火ランナーとして「希望、願い、夢」を聖火に託し、高山市内を駆け抜けました。

本大学関係者は、大友 大友学長が聖火ランナーを務める学長のほか、後藤寿彦客員教授（JR西日本硬式野球部総監督）や佐藤弘道客員教授（子ども指導のためのスポーツクラブ代表）が聖火ランナーを務めました。



大友学長が聖火ランナーを務める

ラグビー 東海セブンズを制す!

東海リーグ連覇に向け好発進

体育会ラグビー部は、4月4日愛知学院大学ラグビー場で開催された「東海学生セブンズ2021」に出場し、予選リーグから決勝トーナメントまで名古屋大学、中部大学、名古屋学院大学、中京大学に対しすべて勝利を収め、みごと優勝に輝きました。

今後の東海リーグ、全日本選手権での活躍に期待が膨らみます。



対中部大学戦(予選)



対中京大学戦(決勝)

フェンシング 関西学生リーグ男女「総合V」

朝日のごとく輝け

体育会フェンシング部は、「第70回関西学生リーグ戦」（4月24日～5月15日：京都府大山崎町体育館ほか）に参戦。男子が「サーブル、エペ」優勝、「フルーレ」3位の成績を、また、女子は「フルーレ、サーブル」優勝、「エペ」3位の成績で、男女共に「総合優勝」の輝かしい成績を収めました。

東京五輪に現役選手やOBを輩出している体育会フェンシング部への更なるご声援をお願いします。



総合優勝に輝いたフェンシング部

東京五輪フェンシングに2名選出!

4月25日、日本フェンシング協会が「東京五輪の日本代表候補選手」を発表し、本大学から辻すみれ選手（法学部4年生）及び卒業生の田村紀佳選手（2013年度経営学部卒）の2名が選出されました。

朝日大学からは2012年のロンドン五輪に出場した中山セイラさん（2005年度経営学部卒）が初めての五輪選手となって以来、今回の東京五輪で第2号、第3号の五輪選手誕生となります。

辻すみれ選手は、これまで日本代表チームの一員として活躍し、フルーレ種目の団体戦リザーブメンバーとして選ばされました。

田村選手は、数々のワールドカップで活躍し、サーブル種目の世界ランキング29位により個人戦と団体戦の出場を決めました。2選手の大舞台での活躍が期待されます。

ご声援よろしくお願ひいたします。



辻すみれ選手
(2019ワールドカップ銅メダル)



辻選手のプレー(左側) (2019アジア大会金メダル)

岐阜県強化指定チーム決定!!

競技力の向上を目指し

岐阜県清流の国推進部から、体育会の7競技団体が「2021年度清流アスリート強化事業：強化指定クラブ」として認定されました。

2005年度から始まった強化指定制度は、ぎふ清流国体（2012年）でみごとに実を結び「天皇杯・皇后杯」の獲得をはたしました。本県では、オリンピックや国民体育大会に向けて選手強化をめざすと共に、日本代表として世界で戦うアスリートを輩出するため、強化指定制度が継続実施されています。

強化指定クラブ	対象	強化指定クラブ	対象
ホッケー部	成年男子	ラグビー部	成年男子
自転車競技部	成年男子	フェンシング部	成年男子・女子
ハンドボール部	成年男子	相撲部	成年男子・女子
卓球部	成年男子・女子		

NEWS

2020年度 事業報告及び決算

2020年度学校法人朝日大学事業報告及び決算が5月27日開催の理事会並びに評議員会において全会一致で承認されました。
2020年度事業報告及び決算は以下のとおりです。

事業報告

1 優秀な学生の受け入れ(2021年度入学生に係る募集結果)

全国31%の私立大学が入学定員を充足できていない状況の中、本大学では、地域社会に必要な人材の育成に精力的に取り組むとともに、本大学の教育・研究活動における質の保証と向上への取組や魅力を効果的な広報活動を通じてアピールし、朝日大学ブランドの向上に努めました。その結果、全体で577名の入学生を受け入れました。

2 教育・研究活動の質の保証と向上

新型コロナウイルス感染症の拡大により教育の継続が危ぶまれましたが、「学生の学びを止めない」を合言葉に、緊急事態宣言が発令された4月の早期から遠隔授業を実施し、学びの継続、教育の質保証に努めました。

法学部、経営学部では、公務員試験に多数合格、公認会計士試験(論文式試験)においては9名(7年連続で延べ47名)が合格しました。歯学部では、歯科医師国家試験で新卒者88名が合格、合格率88.0%で全私立歯科大学中6位の成績でした。看護学科では、看護師国家試験に78名、保健師国家試験に13名の新卒者が受験し、全員が合格しました。全員の合格は2年連続となります。2020年度に完成年度を迎えた健康スポーツ科学科では、公務員試験に多数合格、教員採用試験合格者も輩出しました。歯科衛生士専門学校も歯科衛生士国家試験に新卒者72名全員が合格し、継続して合格率100%を達成しています。

3 地域社会、ステークホルダー等への貢献

地域の方々を対象に公開講座の開催や、地元産業界との連携により実務家教員による授業や共同研究等を実施、そのほか、高等学校に会計研究部の人材を派遣するなど、簿記会計教育の支援も行いました。また、大学病院では岐阜県からの要請を受けて新型コロナウイルス感染症患者をいち早く受け入れ、地域の方々に対する健康の維持・増進に全力を挙げました。

4 国際化ビジョンに基づくグローバル化の推進

毎年、学生の短期海外研修派遣及び受け入れによる海外の提携大学との相互交流を実施してきましたが、2020年度はコロナ禍で中止しました。しかし、新たな取り組みとして北京大学やメキシコ州立自治大学とオンラインミーティングを実施し、交流を継続しました。

高等学校英語弁論大会及び英語教育研究セミナーはオンライン方式で実施し、地域の国際化に努めました。

5 学生支援対策

学業奨励奨学金やスポーツ奨励奨学金による経済的支援、スクールバスの運行や3医療機関における診療費補助等の生活支援を継続して行いました。また、2020年度は、新型コロナウイルス対策として、全学生への臨時奨学金の支給や家計急変者に授業料の1/2又は1/3の奨学金を給付する緊急支援を実施しました。

就職支援では、コロナ禍で協力企業による就職セミナー等の事業の一部を中止しましたが、AGOでの就職指導等を継続し実施してきた結果、2020年度の文系学部学生は95.2%と高い就職率を維持することができました。

6 社会人の学び直し支援

20年に亘り歯科医師の生涯研修として、高度の総合歯科医師を養成する体系化されたプログラムを行ってきましたが、2020年度は、コロナ禍で予定したプログラムを遠隔開催や、規模縮小により実施しました。

地域住民への生涯学習として、グローバルな職業人を養成するための実践ビジネス英会話プログラムや、医療機関のスタッフを対象に医療経営士養成プログラムを開講しました。これらの講座も、感染防止策を徹底した上で一部オンラインを併用し開講しました。

7 施設・設備の充実

遠隔授業による教育推進のための設備を整備しました。また、施設では医科歯科医療センターの耐震補強工事が完了し、耐震化率100%を達成しました。歯科衛生士専門学校実習室の改修工事、冷暖房機器の更新やトイレの改修工事も計画どおり実施しました。

8 法人運営の基盤強化

2020年度も学生募集に全力を挙げるとともに、安定的な医療収入の確保に努め、その一方で細やかな経費の節減を図ることで、バランスのとれた適正な収支の維持に努めました。また、計画的なFD・SD研修会を行い、教職員の能力強化に努めました。

第50期決算報告書(2020年度)

2020年4月1日から2021年3月31日まで

資金収支計算書

単位:円

収入の部	支出の部
学生生徒等納付金収入 4,839,438,730	人件費支出 8,936,817,612
手数料収入 45,463,988	教育研究経費支出 6,205,448,070
寄付金収入 6,740,000	教育研究経費支出 2,450,775,126
補助金収入 2,264,067,563	医療経費支出 3,754,672,944
資産売却収入 7,873,478,131	管理経費支出 636,929,068
付随事業・収益事業収入 105,767,676	施設関係支出 804,998,257
医療収入 9,104,663,918	設備関係支出 518,786,658
受取利息・配当金収入 4,775,488,316	資産運用支出 11,628,513,147
雑収入 159,208,326	その他の支出 20,560,511,430
前受金収入 512,089,858	資金支出調整勘定 △ 1,124,224,862
その他の収入 23,852,579,610	翌年度繰越支払資金 7,269,564,724
資金収入調整勘定 △ 2,447,552,149	
前年度繰越支払資金 4,345,910,137	
収入の部合計 55,437,344,104	支出の部合計 55,437,344,104

事業活動収支計算書

単位:円

教育活動収支	事業活動収入の部	事業活動支出の部
	学生生徒等納付金 4,839,438,730	人件費 8,938,449,687
	手数料 45,463,988	教育研究経費 7,232,576,424
	寄付金 12,428,632	教育研究経費 3,378,698,629
	経常費等補助金 2,166,634,563	医療経費 3,853,877,795
	付随事業収入 35,855,213	管理経費 648,619,445
	医療収入 9,104,663,918	徴収不能額等 11,763,300
	雑収入 159,209,326	
	教育活動収入計 16,363,694,370	教育活動支出計 16,831,408,856
		教育活動収支差額 △ 467,714,486

教育活動外収支	事業活動収入の部	事業活動支出の部
	受取利息・配当金 4,775,488,316	事業活動支出の部 0
	その他の教育活動外収入 69,912,463	
	教育活動外収入計 4,845,400,779	教育活動外支出計 0
		教育活動外収支差額 4,845,400,779
		経常収支差額 4,377,686,293

特別収支	事業活動収入の部	事業活動支出の部
	資産売却差額 64,841	資産処分差額 1,551,455,043
	その他の特別収入 118,570,002	その他の特別支出 0
	特別収入計 118,634,843	特別支出計 1,551,455,043
		特別収支差額 △ 1,432,820,200
	基本金組入前当年度収支差額 2,944,866,093	
	基本金組入額合計 △ 3,431,327,991	
	当年度収支差額 △ 486,461,898	
	前年度繰越収支差額 △ 7,724,380,925	
	翌年度繰越収支差額 △ 8,210,842,823	

貸借対照表

2021年3月31日 単位:円

資産の部	負債の部
固定資産 168,895,240,827	固定負債 4,206,798,496
有形固定資産 26,727,137,146	流动負債 1,848,139,144
土地 11,495,023,466	
建物 9,798,376,271	負債の部合計 6,054,937,640
図書 3,214,997,333	純資産の部
その他有形固定資産 2,218,740,076	基本金 180,328,226,548
特定資産 134,714,298,496	第1号基本金 48,616,726,548
第2号基本金引当特定資産 15,000,000,000	第2号基本金 15,000,000,000
第3号基本金引当特定資産 115,507,500,000	第3号基本金 115,507,500,000
退職給与引当特定資産 4,206,798,496	第4号基本金 1,204,000,000
その他の固定資産 7,453,805,185	繰越収支差額 △ 8,210,842,823
流動資産 9,277,080,538	翌年度繰越収支差額 △ 8,210,842,823
資産の部合計 178,172,321,365	純資産の部合計 172,117,383,725
	負債及び純資産の部合計 178,172,321,365

*詳細は、本学HP(<https://www.asahi-u.ac.jp/info/disc/f-jigyou>)をご覧ください。